

ババガレイ

生態的特徴等

【生態】

日本においては北海道全沿岸、青森県～千葉県外房の太平洋沿岸、神奈川県三崎、愛知県沿岸、青森県～対馬の日本海沿岸に分布する。生息水深は 50m～450m とされ、本県による調査では水深 80m～350m で採取されている。主漁場は底質が岩礁の点在する細砂～粗砂主体の海域に形成される。成魚は主に多毛類、イソギンチャク類、甲殻類を食べる。

東北地方太平洋岸では、雌雄ともに 2 歳で体長 16 cm、3 歳で 20cm、4 歳で 23 cm に達する。また、最高年齢では雄で 18 歳、雌で 23 歳まで確認されている。同海域の産卵期は 3～4 月である。

【漁法と盛漁期】

主に底曳網で 2 月～6 月を中心に漁期（9 月～翌年 6 月）を通して周年漁獲されるほか、曳釣や固定式刺網(建網)でも漁獲される。

【利用】

旬は夏から冬とされる。主な調理法は煮付けであり、刺身で食されることもある。



資源水準は中位、動向は横ばい傾向

(漁獲量) 本県における漁獲量は、H7 年から増加し、H10 年から H18 年には、H11 年の 21 トンを除くと 30 トン～45 トンとなったが、H19 年には急激に減少し、11 トンとなった。その後、H21 年～H26 年は 20 トン～27 トン、H27 年、H28 年は共に 47 トンを超えるなど再び増加したが、以降は減少に転じ、R4 年は 47 トンと急増したものの、R6 年は 7 トンとなっている(図 1)。

(水準と動向) 資源水準は、過去の底曳網の漁獲量から計算した CPUE (kg/隻、日) の推移(図 2) から「中位」、動向は直近 5 年間の CPUE の傾向から「横ばい」とした。

水 準



動 向

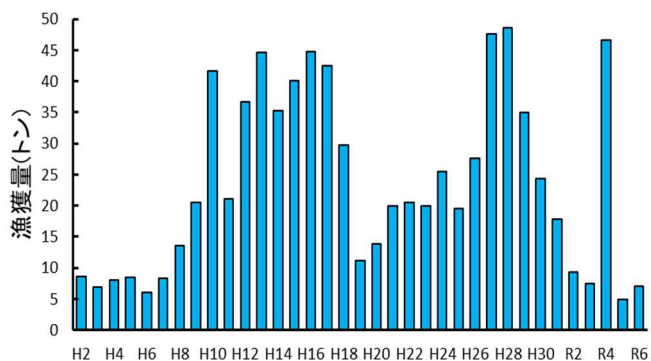
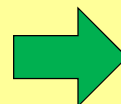


図1 ババガレイの漁獲量(水試システム、属地)

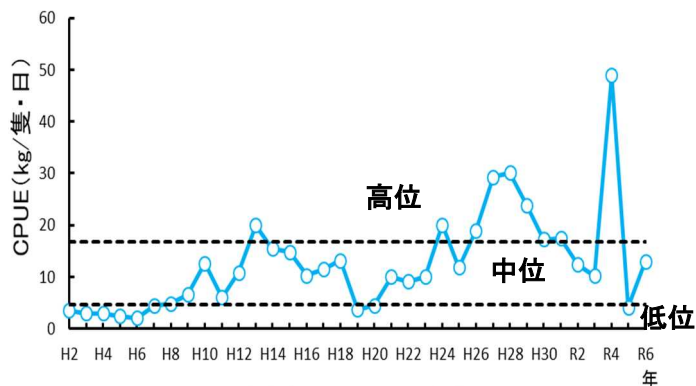


図2 ババガレイのCPUE(底曳網)

【全国の漁獲動向】

主な産地は、青森県、岩手県、宮城県。最も漁獲の多い青森県では毎年 200 トン以上の水揚げがある。

評価期間：令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月 更新日：令和 7 年 3 月 4 日